



2021年5月11日

各位

会社名 日本高周波鋼業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 藤井 晃二  
 (コード番号 5476 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員総務企画本部長 村越 久人  
 (TEL. 03-5687-6025)  
 当社の親会社 株式会社神戸製鋼所  
 代表者名 代表取締役社長 山口 貢  
 (コード番号 5406)

2021年3月期連結業績予想数値と実績値との差異、  
 及び個別業績実績値と前期実績値との差異について

本日公表の「特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」でお伝えした通り、2021年3月期決算において減損損失を特別損失に計上します。この結果、2021年2月2日に公表しました2021年3月期連結業績予想数値と本日公表の実績値と比較して、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日公表の2021年3月期の個別業績において、前期実績値との差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

## 記

## 1. 2021年3月期連結業績予想数値と実績値との差異

【2020年4月1日～2021年3月31日】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純 利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,900	△ 2,500	△ 2,200	300	20.47
実績値 (B)	31,516	△ 2,071	△ 1,763	△ 6,445	△ 439.80
増減額 (B-A)	616	428	436	△ 6,745	—
増減率 (%)	2.0%	—	—	—	—
(参考) 前年同期実績 (2020年3月期)	37,287	△ 5	62	△ 49	△ 3.36

## (差異の理由)

2021年2月2日に発表した業績予想と比較し、特殊鋼で売上が増加したことや、棚卸資産の評価改善等により、営業損失及び経常損失の金額は減少しました。また、固定資産の減損損失8,464百万円を計上したこと及びこれに伴う税効果調整を行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は6,445百万円となりました。

2. 2021年3月期個別業績実績値と前期実績値との差異

【2020年4月1日～2021年3月31日】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	24,327	△ 266	180	245	16.76
当期実績 (B)	20,085	△ 1,681	△ 1,452	△ 6,106	△ 416.65
増減額 (B - A)	△ 4,242	△ 1,414	△ 1,632	△ 6,352	—
増減率 (%)	△17.4%	—	—	—	—

(差異が生じた理由)

工具鋼、特殊合金、軸受鋼の各製品分野での売上数量が減少し、売上高は 20,085 百万円（前年同期比 17.4%減）となりました。損益面では、原燃料等の市況が下落したことやコストダウン、固定費削減に取り組んだものの、売上数量の減少および前年度に実施した貯蔵品の会計処理方法の変更による増益影響がなくなったことから、営業損失 1,681 百万円、経常損失 1,452 百万円となりました。また、固定資産売却益 3,809 百万円の計上や、減損損失 8,464 百万円の計上により、6,106 百万円の当期純損失となりました。

以上